

要望された成分のスイッチ OTC 化の妥当性に係る検討会議結果について

1. 要望内容

要望番号	H28-9	要望者	個人
要望内容	成分名	クリンダマイシン	
	効能・効果	にきび	

2. 検討会議結果

OTC とすることの可否	否
OTC とする際の留意事項・ その他検討会議における 議論	<p>○本成分を OTC とすることは認められない。</p> <p>○OTC 化が認められない理由として、以下の意見がある。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 近年、痤瘡患者からのクリンダマイシン耐性痤瘡桿菌の検出率（18.8%）が上昇していること。・ 薬剤耐性菌対策や治療効果を高めるため併用療法や配合剤を推奨しており、本成分のみが OTC 化により容易に入手できるようになると、薬剤耐性痤瘡桿菌を誘導するリスクが増すことが懸念されること。・ 海外でも OTC 化された例がないこと。